

## 建築家からのメッセージ



**堺 武治** サカイ タケハル  
 1968年 熊本県生まれ  
 1993年 有限会社SDA建築設計事務所  
 入所  
 1999年 堺武治建築事務所設立  
 資格：一級建築士／専攻建築士（領域  
 一括設計）／被災建築物応急危険度  
 判定士／くまもと県産木材アドバイザー

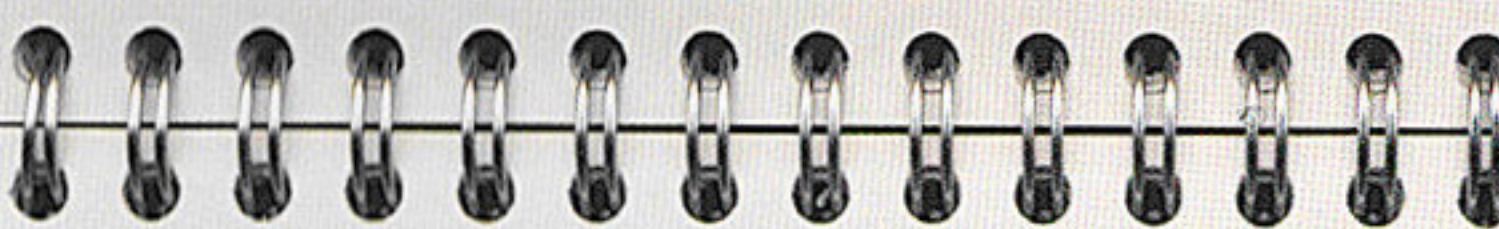
●一級建築士事務所 堺武治建築事務所  
 〒861-4101 熊本市南区近見2-13-29  
 TEL:096-353-0805 FAX:096-353-0809  
 URL:http://www.sakai-takeharu.com/  
 E-mail:info@sakai-takeharu.com

### 住宅設計で大切にしていること

住宅は「人を幸せにする場」であってほしいと思っているので、ご家族が暮らし始めて、幸せな暮らしを送れるかどうかを常に考えています。そのために、家族のライフスタイルを形にすること（建築主の想い・こだわり・好みを理解して、住む人の夢を現実化すること）が私の仕事だと思っています。

### 趣味は何ですか？

ヨットレースに出ることです。帆を張って、風だけで走る爽快感は、自然を存分に体感できリフレッシュできる時間です。クルーそれぞれの役割がうまく機能し、早く走れた時の一体感は格別です。ただ、最近は無沙汰気味になっていますので、できるだけ出場したいと思っています。



## その他の設計作品



■西原村の家  
 「晴耕雨読」をコンセプトとした住宅【☆】



■帯山の家  
 3段の高低差がある土地に  
 建つ住宅【○】



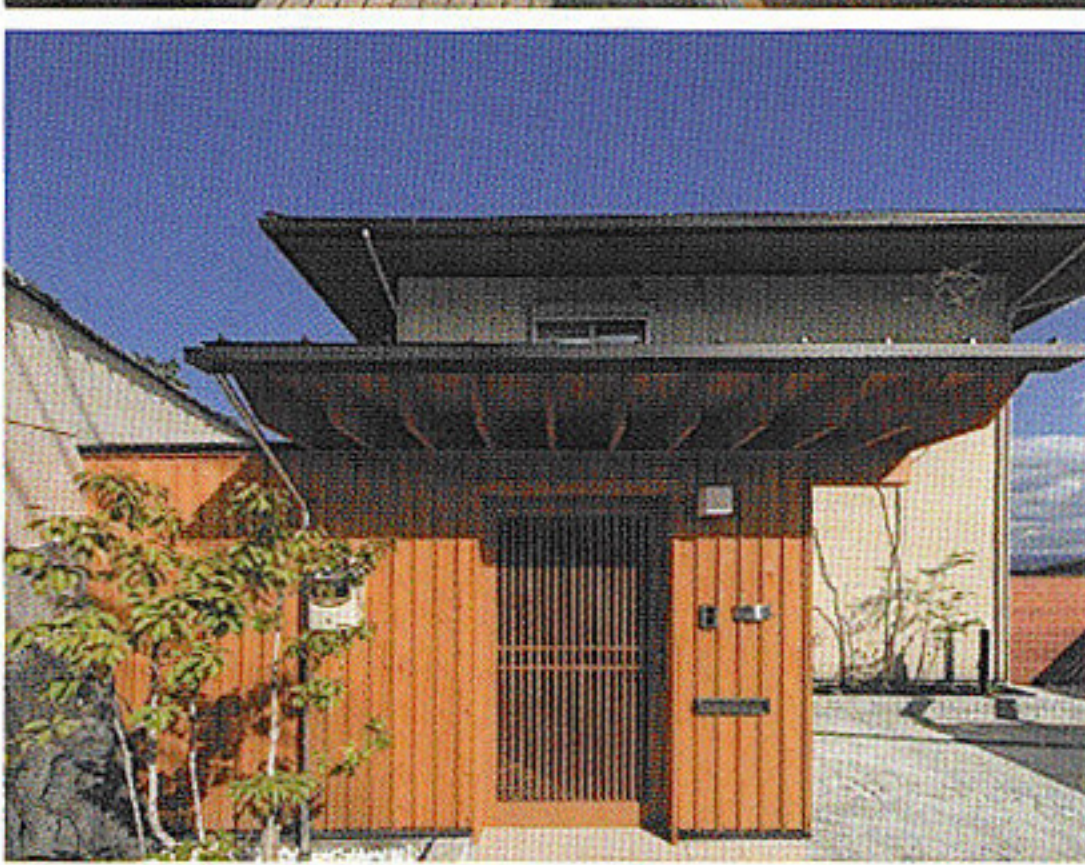
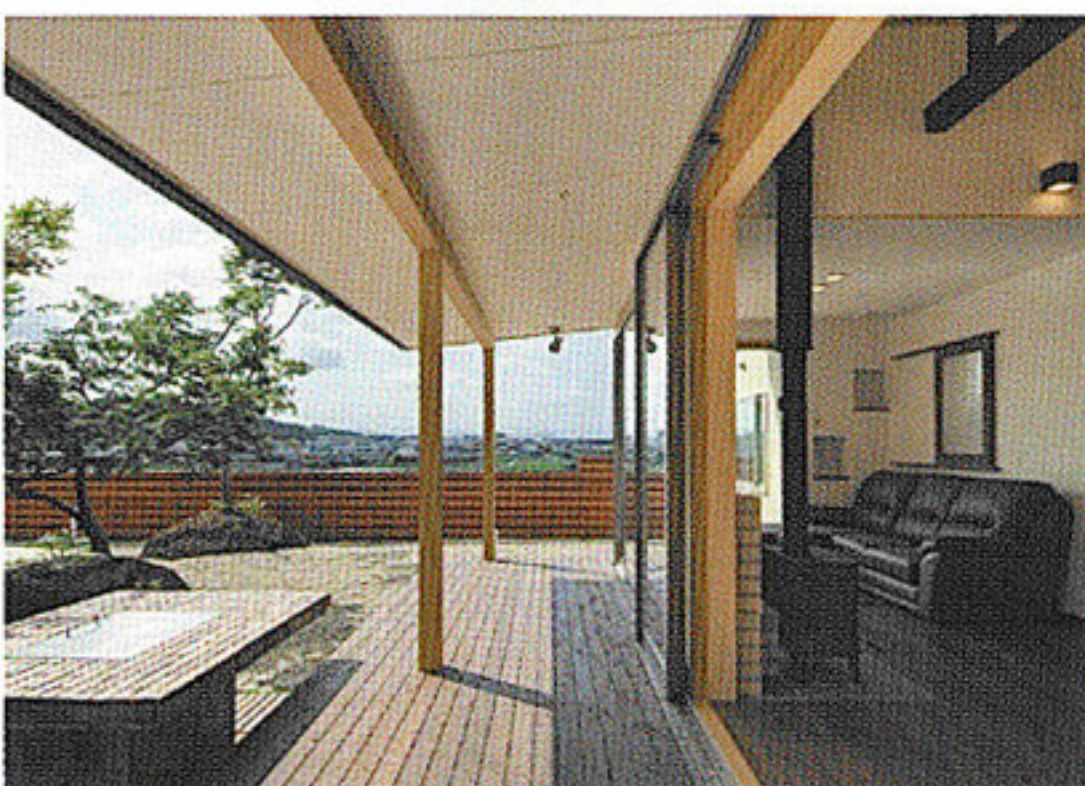
■小川町の家  
 外観は閉鎖的、  
 内部は開放的な住宅【○】  
 （撮影【○】：ブリッツスタジオ  
 石井紀久）



上／薪ストーブのあるリビング。夜景を見ながらの一杯は格別です【☆】  
 下／杉の勾配天井にしたLDK。既存は格天井でした【☆】



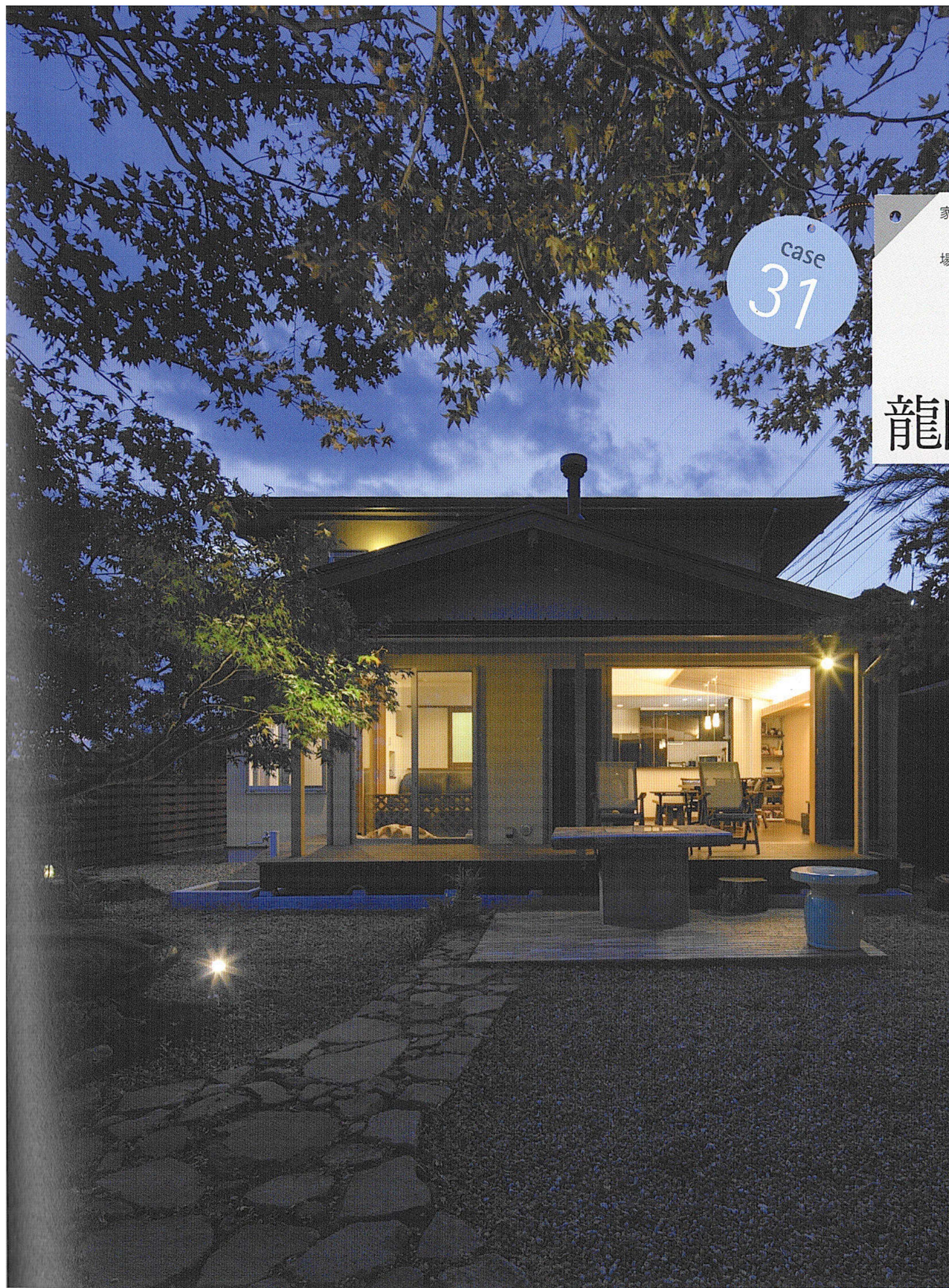
上左／四季を感じられる庭と  
 一体になった縁側【☆】  
 上右／抜群の眺望がある縁側。  
 開放感たっぷりです【☆】  
 下／正面玄関のアプローチ【☆】



### 設計データ

- 敷地面積…530.95㎡ (160.61坪)
- 延床面積…162.77㎡ (49.23坪)
- 1階 / 100.95㎡ (18.70坪)
- 2階 / 61.82㎡ (18.70坪)
- 竣工年…2013年
- 用途地域…第二種中高層住居専用地域
- 建ぺい率…22.42%
- 容積率…30.66%
- 構造・規模…木造軸組工法
- 施工…株式会社 お風呂のシンドー

着工前のLDK。  
 天井も低く、暗い印象でした。  
 （リビングの写真と同じ角度から撮影）



Case  
 31

家族構成……夫婦+子供2人  
 +祖父  
 場所……熊本市北区龍田町

## 龍田町の家

築43年の空き家だった木造住宅を  
 フルリノベーション！  
 四季を感じられる家へ

### 建築主が要望した点

丘陵地の中腹に、空家で築43年の中古住宅が売りに出されていました。抜群の眺望と自然を感じられる立地だったので、この場所がお気に入りだったのですが、壊して新築するカリフォルニアスタイルの購入前に悩まれている。ご相談を受けました。共働きの夫婦のご要望として、この場所でも抜群の眺望を毎日見ながら、四季を感じながらゆったりと暮らしたい。家族が集まる明るいリビングにしたい。プライバシーと収納は確保したい。など数点の要望がありました。

### 建築家が工夫した点

この土地を調べてみると、熊本県条例（通称がけ条例）の制約により再建築が難しい場所でしたが、豊かな生活を送るという観点から見ると抜群の立地条件でした。建物を調査した結果、工事をすれば生まれ変わると判断し、フルリノベーションをご提案しました。家が古いこともあり、耐震診断・耐震補強を行い、断熱補強、間取り変更と大掛かりに工事をしました。

工事中は思いもよらない基礎やどうしても外せない鉄骨大梁の出現などリノベーション特有の現場対応策が求められましたが、施工者や建築主と一緒に考え、納めることが出来ました。  
 結果、家の中に居ながらにして自然を感じられ、開放的で明るい家が完成しました。四季を通じて、光や緑の変化を楽しめるこの家で豊かな暮らしを送ってほしいと思っています。

庭からリビングを見た夜景【☆】（撮影【☆】：Y.Harigane (Techni Staff)）